

# FoE Japan green earth

フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン

NEWSLETTER vol.95 summer 2025 | [www.foejapan.org](http://www.foejapan.org)

「現場」と駆け抜けた45年



未来のために「今」を変える！

イラスト：大塚さやか

## CONTENTS

02-03 特集 FoE Japan 創立45周年  
未来のために「今」を変える！「現場」と駆け抜けた45年

04-05 ACTION REPORT  
北海道南十勝、森林の豊かさを地域の子どもたちに伝える自然観察会を開催  
住友金属鉱山に署名提出 水質汚染を続けるニッケル事業停止を要請  
柏崎刈羽原発の避難計画を問い、署名呼びかけや情報発信  
国内外150団体が石破首相にアラスカLNGへの支援を行わないよう要請

06 I am a friend of the earth Vol.4  
information 今年も開催！「気候アクションウィーク2025」

 FoE  
Japan

# 未来のために“今”を変える！

## 「現場」と駆け抜けた45年

FoE Japanは、創立45周年を迎えました。

気候危機、原発災害、「開発」による人権侵害、止まらない森林破壊…。私たちは、これらの課題の背景にある構造的な問題と向き合ってきました。利益ばかりを追い求め人々や地球を犠牲にする経済のあり方、犠牲にされる人々の声がかき消され一部の産業の声が反映されがちな政策決定のあり方、そして、戦争や活動家に対する弾圧…自然や人々の暮らしがないがしろにされる社会の仕組みを見つめ、声をあげ、つながり、変えていく。こうしたアプローチによって成し遂げてきた数々の変化は、FoE Japanの活動に共感し、声をあげてくださった市民のみなさんの存在があってこそ実現できたものです。すべての生命が、お互いに支え合い、尊重し合い、尊厳を持って生きていける世界を目指して、FoE Japanはこれからも歩みを続けていきます。そして、次の一步を皆さんと踏み出していきたいと思ひます。



**ランダル・ヘルテン**  
代表理事

広大な宇宙から地球を見れば、国境は見え、ただひとつの「いのちの星」が浮かんでいます。すべての生命のために、私たちの故郷であるこの地球を一緒に守りましょう。



**長田大輝**  
開発と人権  
脱化石燃料

人権や環境を犠牲にする開発に対し、被害を受ける現場の声を届ける活動を続けます。政府や企業の方針を変えるには、皆さんの声が必要です。これからも共に頑張りましょう。



**小野寺ゆうり**  
気候変動  
バイオマス

5年前のコロナ危機はまだ記憶に新しく、深まる社会の分断や紛争、強まる将来への不透明感がある一方、今私達は時代の変化の真只中にいるとも言えるのではないのでしょうか。新しい未来への道筋を造る一助になればと思ひます。



**木次和歌**  
総務

寄付やお問い合わせを通じて届く言葉に、いつも力をもらっています。スタッフが働きやすい環境を作りながら、私自身も足元でできることを1つひとつ続けていきたいと思ひます。



**佐々木勝教**  
森林保全

これまで一緒に活動を進めて下さった皆さまに心より感謝を申し上げます。成果の見えにくい活動が多いなか、何度も参加して下さる皆さまから勇気をいただきました。



**佐藤万優子**  
開発と人権  
脱化石燃料

人々がお互いに、そして地球に対して思いやりを持てるような社会が構築されるよう願っています。これからも皆さんと、そして国内外の方々と共に考え、行動していきたいと思ひます。



**篠原ゆり子**  
総務  
森林保全

今の組織は人材にとっても恵まれていると感じます。様々な個性と能力をもつスタッフたちが、それを最大限発揮して活躍できるよう、しっかりとした組織の土台づくりをしていきます。



**田淵透**  
気候変動

今を生きることで精一杯の状態ですが、環境・社会が数年後、数十年後に良くなるよう活動していきます。これからも皆さまとともに歩んでいけたらと思ひます。



**轟木典子**  
気候変動

FoE Japanに参加してまだ日が浅いですが、様々な場面で支援して下さる皆さんの温かさを感じています。課題は山積みですが、これからも一緒に進んでいきましょう。



### 波多江秀枝

開発と人権  
脱化石燃料

理不尽な開発に対して現場で闘いつづけている方々の声を大事にし、粘り強く問題に取り組み続けていくこと―課題は次々と降ってきますが、これを忘れず、今後も頑張ります！



### 深草亜悠美

事務局長、脱化石燃料  
気候変動、開発と人権

今の生活や将来に不安を募らせる人が増える一方だからこそ、気候危機や原発の課題にFoEが粘り強く取り組まねばならないと感じています。



### 松本光

脱原発  
開発と人権

ありふれてしまっている環境、社会問題の数々・・・そこに目を向けようとすると本当に途方に暮れてしまいます。皆さまの温かい言葉や応援があって一歩を踏み出せます。



### 三柴淳一

森林保全

環境・社会問題の解決に近道はありません。「継続は力なり」。コツコツ積み重ね、後戻りを防止しつつ、少しでも解決に近づけるよう、ともに活動していきましょう。



### 満田夏花

脱原発  
バイオマス

皆さんのあたたかいご支援や各地で声をあげつづけている仲間たちの存在に支えられています。People's powerを積み上げて、社会を変える大きなうねりに変えていきましょう！



### 舞木瑞季

広報

FoEが取り組む課題や、それを支えてきた人たちの思いを、もっと多くの人に知ってもらえたら嬉しいです。「地球の友」が広がり、子どもたちにより良い未来を残せますように。



### 柳井真結子

開発と人権

足下を見ると、今日も生きものたちが逞しく生きていく姿に力を貰います。100年先にも1000年先にも、多くの生きものが命を謳歌できる地球を残していきましょう。



### 矢野恵理子

福島ぼかぼかプロジェクト

原発事故後、福島の子どものために何かしたいと思いFoEに入りました。課題は多く、達成は遠い道のりですが、多くの人と出会い、素敵な仲間と活動出来て幸せです。



### 吉田明子

気候変動

無力に思えることもありますが、どんな変化も、小さな働きかけや動きが積み重なって起きています。仲間を増やしながらか、あきらめずに一緒に声をあげ続けましょう。

## 「現場と歩んだ45年、市民参画のこれから」開催報告

6月にFoE Japan2025年度会員総会＆「現場と歩んだ45年、市民参画のこれから」と題したイベントを開催し、45年間の活動をまとめた動画の上映とパネルディスカッションを行いました。ゲストにジャーナリストのまさのあつこさん、原子力市民委員会の村上正子さん、we Re-Act 共同代表の小出愛菜さんを迎え、「市民参画のこれから」を語り合いました。村上さんは元FoE Japanスタッフとして、かつてロシア・サハリン2のガス開発問題に取り組んでいた経験から、国境を越えて市民が共通の課題に連帯することの価値を語ってくれました。戦争やコロナ禍、排外主義の高まりの中、今こそ国際的な市民連帯が求められていると感じました。小出さんは元インターンで、現在は陸前高田の再生可能エネルギー会社で働いています。環境・社会課題について対話できる素地を作ることの重要性や、「地方」に暮らす生活者としての視点から、東京中心での政策提言に偏りがちなFoEの活動にヒントを与えてくれました。まさのさんからは、FoEが「市民社会の担い手」を育ててきたというありがたいお言葉とともに、日本において市民参加を確保する制度が確立していない問題点や、今後FoEが取り組むべき課題についての示唆もいただきました。それぞれの立場からの思いや経験に触れ、胸が熱くなる時間となりました。当日の様子は詳細ページにてご紹介しています。是非、ご覧ください！



2025年度会員総会の集合写真



# ACTION REPORT

FoE Japanの  
各活動の報告

## 北海道南十勝、森林の豊かさを地域の子どもたちに伝える自然観察会を開催

森林保全

#生物多様性 #北方林

北海道南十勝の広尾郡に森林を所有する史春森林財団は、生物多様性に配慮した森林経営を実践しています。FoE Japanは、持続可能な木材利用やエコツアーによる財団の取り組みの普及のために協力をしています。

5月24日には、同財団が受託した「ほっくー基金 北海道生物多様性保全助成」の活動として、地域の子ども向けに自然観察会を開催。漁港とサケ遡上河川の近くにある、広尾町・茂寄の森に自生する草花と多様な広葉樹について学ぶ機会を設けました。南十勝は酪農を中心とした農業や漁業が盛んな地域で、林業も営まれてはいるものの、地域に居住する子どもたちが森林に触れる機会は少なく、林業があることすら知らないという状況です。こうした現状を背景に、まずは体験してもらうことを第一に、身近にある森林や林業を感じてもらい、将来的にも関わり続けてほしいと考えています。

自然観察会には、大樹町の小学生3名と地元の方3名の他、地域おこし協力隊や木工作家の方々にも参加いただき、財団の専門家が林道を歩きながら、葉っぱで植物を見分ける方法を教えたり、ネイチャーゲームを行ったりしました。一見何気ない植物でも、花の色が美しく形が特徴的なものや、毒のあるもの、アイヌ民族が古くから食用としてきたものなど、多種多様な植物を発見することが出来ました。最後に



林道に生えている葉っぱを持ち寄っての葉っぱジャンゲンの様子

は、森に生えている笹の葉を使ったお茶とエゾシカのソーセージを食べながら交流の時間をもちました。

今後は季節毎に、昆虫の先生を招いた観察会や、VRカメラによる森林内部の撮影会、ドローンによる上空からの森を観察するイベントも予定しています。地域の担い手が増えていくことを期待しながら、より多くの方々に南十勝の森林の魅力を知っていただく機会の創出にFoE Japanも協力していきます。(佐々木勝教)

## 住友金属鉱山に署名提出 水質汚染を続けるニッケル事業停止を要請

開発と人権

#鉱物資源 #パラワン・ニッケル拡張



住友金属鉱山本社前にて

6月19日、FoE Japanはアジア大平洋資料センター (PARC) と共に住友金属鉱山の本社(東京)を訪問し、地域コミュニティへの深刻な影響を回避するための効果的な水質汚染対策が策定・実施されるまで、フィリピン・パラワン州でのコーラルベイ・ニッケル製錬事業(同社100%出資)、およびその原材料の調達先であるリオツバ・ニッケル鉱山事業を停止するよう求める要請書を署名と共に提出しました。

FoE Japanと協力して2009年から水質調査を行ってきた専門家の報告書によれば、同鉱山の採掘鉱区から流れてくるトグボン川で、国内外の環境基準を超える六価クロムが雨季に常時検出されています。2024年9月の雨季には、この15年間の水質調査のなかで最大の六価クロム濃度が観測されました。

現在、脱炭素化の取り組みによりニッケルの世界的な需要増加が見込まれるなか、同地域では採掘事業の拡張が始まっていますが、これまでも有効な対策が取られていない以上、他の河川にも同様の水質汚染が拡大する可能性が高いと言えます。同事業地の周辺で生活用水や農業用水を河川に依存している先住民族や農民が、今後数十年にわたり悪影響を被る可能性は否めません。六価クロムは発がん性があり、皮膚炎等も引き起こす強い毒性を有するため、より多くの地域コミュニティが健康被害のリスクに晒されること

にもなります。

今回の要請書への署名は環境法律支援センター（ELAC）、FoE フィリピン、PARC、FoE Japan が呼びかけ、一次集約期限の6月18日までに世界34カ国の1,571人および40カ国の90団体から賛同が集まりました。現在も署名サイトでの署名数は増え続けており、住友金属鉱山に対し、責任ある対応を求める声が世界中の市民から寄せられています。（波多江秀枝）



## 柏崎刈羽原発の避難計画を問い、署名呼びかけや情報発信

脱原発

#再稼働 #柏崎刈羽原発

多くの問題を抱えた東電柏崎刈羽原発の再稼働準備が着々と進められています。

FoE Japanでは、地震の危険性、東電の適格性、原子力防災、テロ対策施設、コストや電気代など、柏崎刈羽原発の再稼働を考える上で、知っておきたい14のポイントをQ&Aの形でまとめ、ウェブサイトに公開しました。文末の二次元コードからご覧いただけます。

なかでも、原発事故と地震、豪雪など、複合災害が発生したときに本当に避難できるのかという問題は、地元の人たちにとって深刻です。能登半島地震では、多くの家屋が倒壊し、避難路も通行不能になりました。地震等の天災と原発事故との複合災害では、避難も屋内退避もできない状況となることもありえます。さらに大雪と重なった時には、道路が通行できなくなり、避難が一層困難になることも予想されます。政府の「緊急時対応」（避難計画等を取りまとめたもの）では、大雪の際には5km圏内でも自宅などで屋内退避するとなっていますが、これは政府のシミュレーションでもIAEAの判断基準を超える大量の被ばくを容認することになります。その他にも多くの矛盾があり、住民を守れる計画とは到底いえません。

FoE Japanは、原子力規制を監視する市民の会などと協働し、原発周辺の現地視察を行い、住民の方からお話を伺



柏崎刈羽原発。電気は首都圏に送られるが、事故のリスクは新潟の人たちが負うことになる。

いました。また、内閣府や新潟県に対して「緊急時対応」を了承しないことを求める署名を呼びかけ、二度にわたり、合計12,396筆の署名を提出するとともに、原発から2km地点にお住まいの吉田隆介さんなどをお招きし、議員会館内で集会を開催するなど、情報発信や問題提起に取り組みました。（満田夏花）



## 国内外150団体が石破首相にアラスカLNGへの支援を行わないよう要請

脱化石燃料

#アラスカLNG

5月29日、FoE Japan主導のもと、日本および世界各国の150を超える団体が石破茂首相宛に、莫大なコストと環境影響が懸念されるアラスカLNG事業を支援しないよう求める公開書簡を送りました。

アラスカLNG事業は、何十年も構想されてきましたが、いまだ具体的な進展はありません。アラスカ・ノーススロープのガス田から1,300kmのパイプラインでガスを輸送し、アジア諸国へ輸出する計画です。現地の団体からは環境や生物多様性への多大な悪影響が指摘されています。過去数十年の間に事業予算は大幅に変動し、現在の見積もりでは少なくとも440億米ドル（約6兆2000億円）とされています。建設費の上昇や輸入鋼材への関税により、これらのコストはさらに高騰する可能性があります。莫大なコストのため、日本や米国からの公的支援がなければ、同事業が進行する可能性は低いと考えられます。

FoE U.S.のキャンペーナーは、アラスカLNG計画は米国の納税者に対する公的負担になりうると指摘するとともに、「トランプ大統領はアジア・太平洋地域のLNGの買い手にアラスカLNGをちらつかせながら、関税で脅すという脅迫的な態度をとってきました。しかし、トランプ大統領は『購入者の自己責任で』とも述べており、（事業に対する）なんの保証もありません」とコメントしています。

エネルギー危機や気候危機の中、クリーンでエネルギー安全保障に資するとして注目されるLNGですが、LNGは化石燃料であり、主成分のメタンは二酸化炭素の80倍もの温室効果を持ちます。開発の現場では環境汚染・健康被害を引き起こしており、決してクリーンなエネルギーではありません。気候危機を食い止めるためには、LNGの利用も段階的にやめる必要があります。さらに日本はLNG供給過剰の問題を抱えており、日本企業が取り扱うLNGの約40%がすでに海外に転売されています。アラスカLNGの操業開始は早くても2030年以降。今後ますます再生可能エネルギーが安価になり、かつ気候危機対策のためネットゼロを達成していかなければならないなか、産業界も強い難色を示しているアラスカLNGへの支援は非常にリスクが高いと言えます。

日本政府はアラスカLNG事業に公的支援を行わず、省エネ・再エネ中心のエネルギーシフトに資金を振り向ける必要があります。（深草亜悠美）

# I am a friend of the earth vol.4

大塚さやかさん FoE Japan 会員



デザイナー&イラストレーターとして活躍する大塚さやかさん。FoE Japanとの関わりは2006年頃から。ウェブサイトをはじめ、アムールヒョウの絵本や脱・使い捨てのパネル展、アクションマップ、気候変動かるたなどのデザインを担当してくださっています。これまでの関わりで特に印象に残っているのは、ロシア極東・ウデヘ族の村を訪れるツアーに参加したこと。「タイガの森や現地の生活に触れることができ、いろんなチャンネルが変わった経験でした」。

今回、45周年を記念するロゴを制作してくださいました。「図書館の本で初めてFoE Japanを見つけたときからずっと、環境や人権、動物など、地球全体で考えている印象があったので、広く網羅的に表現しようと思いました。45周年記念ノートを手にとった人が『FoEって何だろう?』と思って調べて、ホームページが可愛かったら、いつの間にかいろんな問題を知っているような。難しいことにはあえて力が抜けるようなイラストにする。翻訳家のような役割ができればいいなと思っています」。大塚さんのイラストは、複雑な社会構造や私たちが取り組む問題をやわらかく、わかりやすく伝えてくれています。

「FoE Japanから届く情報に目を通すと、知らなかった問題や想像もつかなかった事実を知ることができます。たとえばエシカルバナナ・キャンペーンの署名活動では、選ぶときに注意すべきバナナが明確になり、自分の生活に取り入れられることが分かりました。これからは、若い層の取り込みやインターンの方たちの発信力にも期待したいです」。

## information 今年も開催! 「気候アクションウィーク 2025」

FoE Japanも参加しているキャンペーン「ワタシのミライ」では、本気の気候変動対策を求めて全国各地で声をあげる「気候アクションウィーク 2025」を9月に開催します。加速する気候危機を止めるため、再エネ100%と公正な社会を目指す市民の一員として、あなたの街でもアクションしてみませんか? 勇気を持って踏み出す皆さんのアクションが、全国各地で同時に起こることで大きなムーブメントを生み出せます。

〈期間〉2025年9月12日(金)～9月28日(日)

〈詳細〉<https://watashinomirai.org/climateactionweek2025/>



FoE Japan (フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)とは

世界73カ国にネットワークを持ち、国連にNGOとして正式に承認されているFriends of the Earthのメンバーです。地球上のすべての生命(人、民族、生物、自然)が互いに共生し、尊厳をもって生きることができる、平和で持続可能な社会を目指し、1980年より日本での活動を続けています。

### 会員募集

FoE Japanの活動は皆さまのご支援によって支えられています。持続可能な社会をめざし、国内外の環境問題に取り組む私たちを応援してください。

#### 会員特典

- 入会時にオリジナルエコグッズと会員証をお届けします。
- ニュースレター(季刊)をお届けします。
- 各種イベント等、環境学習講師派遣料、出版物等が割引になります。
- 会員限定のイベントやプロジェクトに参加いただけます。

#### 会員

種類	年会費
個人	5,000円
	10,000円
	30,000円
	50,000円
学生	3,000円
ファミリー	3,000円
団体(一口)	10,000円
法人(一口)	50,000円

#### お申込み方法

  
パンフレットから  
事務局にご請求ください

  
ウェブサイトから  
[www.foejapan.org](http://www.foejapan.org)

#### お支払い方法

 [下記のいずれかの方法をご選択できます]

- 郵便振替 郵便振替口座 00130-2-68026 FoE Japan
- 銀行振込 城南信用金庫 高円寺支店(普) 358434 エフ・オー・イー・ジャパン  
\*銀行振込の場合は、お手数ですが送金後事務局までご連絡ください。
- 銀行自動引落し 所定の自動引落利用申込書をご利用ください。
- クレジットカード ウェブ決済をご利用いただけます。

### 寄付の募集

金額の多少に関わらず随時寄付金を募集しています。FoE Japanへのご寄付は税制優遇措置(寄附金控除)の対象になります。お支払い方法は会費と同様です。皆さまのご支援をよろしくお願いたします。

### 編集後記

45年の活動を動画にまとめたのですが、FoE歴が浅い自分としては時代ごとに先駆的な活動を牽引してきたことに驚くばかり。素晴らしい功績があるのに、あまり自分たちではアピールしていないせいか、知らないことも多くありました。真面目で控えめな団体です。だからこそ、その歩みを丁寧に伝えていきたいです。(M)

green earth Vol.95 2025年7月31日発行

発行人 ランダル・ヘルテン  
編集 舞木瑞季 篠原ゆり子 佐々木勝教  
デザイン 畠山功子  
印刷 株式会社 文星閣



認定NPO法人 FoE Japan  
(フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9  
TEL 03・6909・5983 FAX 03・6909・5986  
<https://www.FoEJapan.org>  
E-MAIL [info@foejapan.org](mailto:info@foejapan.org)

